



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 319 号

(創刊 1988.12.14)

2016.04.03.

事業者との質問・回答会議開催 (3月24日 於 朝日平和台会館)

事業評価監視委員会付帯意見である「住民の理解を得ることが不可欠」に基づき、理解が得られていないことを質問しその回答を得る「質問・回答会議」を継続的に開催している。

今般、回答を得たうちの一つを報告します。(質問経緯は2月7日発行の連協ニュース 317号を参照下さい)



(奥左から 市道路局、NEXCO、国交省)

大断面積庄戸トンネルの安全性問題

庄戸トンネル技術検討委員会及び2月26、27日の事業者説明会での図面から庄戸トンネル構造、掘削工法等の説明を受けた。

庄戸三丁目のパンダ公園付近の大規模盛土地域の**上り本線から横横へのランプ道路に分岐する分流箇所が最も大断面となり、横約30m、高さ約20mの馬蹄形で NATM 工法とのこと**(ショベル重機で穴を掘り内周にコンクリートを吹き付けるらしい)。

参加者から、NATM工法は地山の持つ強度大きければ金網を張りコンクリート吹付、また、ロックボルトを使うことが一般的との見解が出され、ロックボルトを使うのか?の質問が出されたが「使うかどうか決まっていない」との返事であり、何ら具体的説明はされなかった。(検討委員会の有識

者は何を確認したのだろうか?)

我々の常識では、コンクリートは圧縮強度は強いが引っ張り強度は低く、引っ張り強度は鉄筋を入れて持たせるとの理解だが、**30m幅の馬蹄形庄戸トンネルは鉄筋コンクリート造りとは言わなかった。**



(連協参加者)

笹子トンネルの天井部吊りボルトの脱落大事故では鉄筋の無いコンクリートにボルトを埋め込んだ構造のような報道だった。

また、1月23日に君津市の**6m幅**の国道で吹付補修中トンネル天井の**厚さ10cmのモルタル23トン**が落下した事故が報道されている。**30m幅の庄戸トンネル**はどのように支えて掘削、完成姿は如何なるものだろうか?

なお、最大断面付近は大規模埋め立て地域のため土質改良(ボーリングで穴を掘りセメントミルクの注入)を行うとのことである。

H24年の事業評価監視員会で**地盤工学専門家小泉氏は「南線路線の地盤は強固で盛土も40年以上経過して固まっているから大型トンネルの掘削も出来る」と意見陳述し事業継続の一翼を担った。**しかし、地盤改良をせざるを得ない現実を曝け出した訳であり、あれは「首紐に操られた猿芸」にも映る。更なる事業者の言う安全性を確認していきたい(事務局長 長谷川誠二)

今こそ、住民の声を！

今回の質問・回答会議は概要が見えてきた庄戸地区道路について、住民の具体的質問・要望を発言する機会となりました。地盤改良工事騒音は？ 地下からの改良工事は可能か。工事車両の住宅内通学路通過絶対反対。円海山の開口部の図面提出要求。又、地盤沈下計算の確認、土質改良薬品の種類、交通センサス等専門的な議論もありました。

NEXCOは住民の安全確保に最善を尽くすと答えながらも、事業者がまだ決まっていけないので詳細は答えられないと回答拒否。請負業者に対して住民の声を確実に伝えることがNEXCOの責任と強く要求。いつも事業者応援団の発言を繰り返す横浜市には、本分である市民の生活を守る立場で責任ある発言をして頂きたいと要望しました。

人口減少、少子高齢化で車が減少している日本が1メートル当たり5千万円もの無駄な高速道路を、何故、造る必要があるのか。国交省の職員の回答は「今まで続けてきた事業なので続けます」でした。惰性で止まらない不要な日本の公共事業が続く限り、次世代への借金が増えていくのでしょうか。今後予定されている工事説明会には、大勢の住民が出席して生活を守る為の声を挙げましょう。(庄戸三丁目 田中恵子)

参議院選前緊急院内集会 公共事業の暴走ストップ！ 人権破壊・自治権剥奪を許さない！！

○日時：2016年4月5日(火)
15時30分～18時10分

- 場所：衆議院第一議員会館 大会議室
- 現地報告：横環南線、石木ダム、リニア、江戸川スーパー堤防、諫早開門、辺野古
- コメンター：金子 勝氏(慶応大学教授)
- 各政党・国会議員からの発言

●院内集会に先立ち、12時30分～14時30分間に、厚労省、農水省、国交省に対し、抗議書手渡しと抗議行動が行います。

○連協は下記を会長が発表します

◆ 横浜環状南線(圏央道)

- 高速道路になる事を隠して始めたウソ事業。
- 住宅密集地に6車線という無謀な計画。
- 生活権が騒音、大気汚染で脅かされる。
- 事業評価監視委員会の付帯意見を全く無視。
- 専門家の意見も無視して道路ありきの状態。
- 土地収用法を不適法に悪用し財産権を無視。
- 反対運動で供用を24年延長している。

「4.14 神奈川共同行動」開催 案内

全国公害被害者総行動デーに先立ち、神奈川地区での公害被害者救済を求めるための「神奈川共同行動」が昨年引き続き開催します。

神奈川地区では建設アスベスト被害(裁判中)、福島原発被害(神奈川県内避難の3,000人が来年4月で住宅補助打ち切り)、横浜ぜん息患者救済等を求めて神奈川県・横浜市・東電等への要請、統一集会、デモ行進を行います。

連協では市道路局と国交省横浜国道事務所に横環南線道路、上郷公田線による公害被害防止のための撤回要請を行います。

日時 4月14日(木) 8時～12時30分

- ① 市役所前 ビラ配り 8時～9時
- ② 市、国交省等への要請行動 9時～11時
- ③ 総決起集会会(関内情報文化センター6階ホール) 11時～12時
- ④ デモ行進 12時～13時30分
情報文化センター⇒市役所⇒ベイスターズ通り⇒東電⇒県庁(解散)

対外活動報告

- 03/14 事業者との質問・回答会議に向け追加質問書提出
- 03/22 公共事業改革市民会議(会長)
- 03/23 衆議院議員会館訪問(初鹿、畑野)
- 03/24 「4.14 神奈川共同行動」への参加要請オルグ(約30団体、1名参加)
- 03/24 事業者との質問・回答会議開催
- 04/01 「4.14 神奈川共同行動」第3回相談会